

## 目標と動機

大きい目標があるのは、とてもよいことだと思う。  
毎日の生活もきっと有意義になることだろう。  
しかし、大きい目標というものは、えてして成し難いものでもある。  
私のような人間には、少し荷が重過ぎて投げ出したくなることも。  
そのような私は、だいたい小さな目標を作ることになっている。  
小さな目標、長くても1年くらのスパンの目標。  
短いものだと、向こう6時間くらの目標だったりもする。  
もちろん、大きな目標を見失うわけにはいかないが、  
都度、勝手に達成感を得ることができる。  
大きい目標へのモチベーションも高まる。  
成果を人に自慢したり、発表したり、  
そして面白いねなんていわれると、その効果はさらに高くなる。  
そのかわり、いきなり大きな結果はでない。  
友人や後輩の中には、割とだまって物事をすすめ  
大きな結果をどかんと持ってくる人がいる。  
素直にすごいな、と思わされる。  
そして、中には大きい結果を求めて、  
はまったり、疲れたりしてしまう人も。  
寡黙に努力し、結果を出すことの美学には純粋にあこがれるが  
せっかくたてた目標、いい目標があるなら  
あきらめたり、疲れてしまわないほうが得だと思う。  
疲れると、楽しめなくなってしまう。  
まあ、小さな結果を評価してくれる人が周囲にいるという  
とても恵まれた環境があるから、なのですが。  
さて、明日は何を目標にしようか、な。